

New

地域戦略人材塾

令和8年度 募集開始

人口が減っても地域の豊かさを保つための
「賢く縮む地域づくり」



現場で活かせる
実践知を学ぶ1年間

実践知

×

事例

- 1 人口減少を前提にした
自治体の考え方を学ぶ
- 2 視察で学ぶ
先進自治体のリアルな政策
- 3 資源選択・DX・未来視点を
統合する戦略思考

変化の激しい時代に、
まちづくりを支える自治体職員へ！

この塾は、各自治体の垣根を超えて学びあうことにより、政策の選択肢を豊かにすることによって、地域創生をサポートすることを目指しています。

2026年度は「賢く縮む（スマートシュリンク）」を大括りのテーマとしています。これは、人口の減少を所与として、人口が減っても地域に住む人々のウェルビーイング（豊かさ、福祉）を維持し、さらには高めて行こうという考えです。地域創生を考えていく上で避けて通れない課題であり、近年広がりつつある政策スタンスです。

皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

地域戦略人材塾 塾長

小峰 隆夫

大正大学地域構想研究所 客員教授



本講座の案内

01

「新しい地方創生」



2025年以降の潮流を俯瞰

地方創生2.0の総括から、2025年以降に始まる“次の地方創生”の流れを整理。人口減少を前提とした政策転換のポイントを、最新の国の議論とともに俯瞰します。これから自治体が備えるべき視点が明確になります。

02

理論 × 実践の融合



アカデミックと事例を体系化

経済学・地方自治論を専門とする大学教授による講義と、先進自治体の現場の実践事例を組み合わせ、“理論と現場をつなぐ学び”を1年間通して構築します。学んだ内容が自自治体の課題整理に即応できます。

03

全国の自治体が集う



他自治体と意見交換できる場

全国の自治体職員が毎月オンラインで参加し、課題や取り組みを共有しながら学び合う“実務者コミュニティ”。他自治体の先進的な取り組みや悩みに触れることで、自地域の課題を多角的に見つめ直すことができます。

▼令和8年度の講座概要 ※記載は開催予定月です。2026年7月時の予定です。時世をながら変更する場合がありますことご了承ください。

①	5月27日	開会式 これからの地域創生をどう考えるか	ミニ基調講演 「スマートシュリンクと自治体」	大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
賢く縮む ―人口減少を前提としたまちづくり―				
②	6月10日	人口減少下における地域と経済	新しい地域創生の向かう方向性、経済・人口動態の最新データをもとに、人口減少下で自治体が取るべき基本戦略を整理します。	大正大学地域構想研究所 小峰 隆夫 客員教授
③	6月24日	自治体間情報交換（所長との対話会含む）		大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
将来に必要な公共施設とは？				
④	7月8日	公共施設の再編あるいは統合	老朽化・財政制約の中、公共施設をどう再編すべきか。先進自治体の意思決定プロセスを学びます。	浜松市役所 財務部 アセットマネジメント推進課 北嶋 敏明 課長
⑤	7月22日	岐路にたつ公共施設を考える		宮城大学事業構想学群地域創生学類 上森 貞行 准教授
自治体DX				
⑥	9月9日	自治体の業務見直し、削減（BPR）や共同化に向けて	自治体の日常業務が逼迫してくるなか、そもそもの業務は必要か、手順は適正なのか等の抜本的見直し（BPR）や、業務処理の共同化等により、浮いた時間を地域独自の施策に向けるなど、トランスフォーメーションの具体例を示しながら学びます。	CocreCoコンサルティング合同会社 総務省地域情報化アドバイザー 原 秀樹 代表
⑦	9月30日 ※第5週	BPRによる業務改革の実例		常滑市役所 企画部 企画課 主事 石川 扇帆
人口減少下の地域の将来をデザインする				
⑧	10月14日	未来から考える思考FDの必要性	将来世代を考える「フューチャー・デザイン」を学び、市民協働によるまちづくりへ実践的に活かす視点を養います。	大正大学地域構想研究所 西條 辰義 客員教授
⑨	10月28日	フューチャー・デザインの基礎理論＆実践		岩手県矢巾町教育委員会事務局 学校教育課長 高橋 雅明
⑩	11月11日	フューチャー・デザインの実践		
先進地の視察				
⑫	1月中旬	賢く縮むまちづくり事例	“賢く縮む”また“フューチャー・デザイン”実践事例地を訪問し、新しい政策が実現する現地のプロセスや熱気を体感する機会を企画中です。	
特別公開講座				
⑬	1月下旬	特別公開講座		
⑭	2月中旬	意見交換会		

お申込み
お問合せ

大正大学 地域構想研究所
担当 山本 恭久



chikouken_jinzaijuku@mail.tais.ac.jp